

ご購入者各位

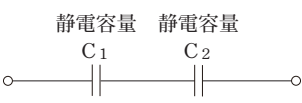
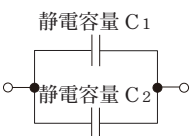
株式会社 公論出版
編集部

「〈CBT 試験対応〉第二級陸上特殊無線技士 令和8年版」に関するお詫びと訂正

弊社発行「〈CBT 試験対応〉第二級陸上特殊無線技士 令和8年版」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

当該書籍におきまして、誤りがございました。お詫びするとともに、下記のとおり訂正をお願い申し上げます。

記

頁	個所	内容
44 [更新：2026.7.1]	①直列接続の合成抵抗（図形を差し替え）	 $\text{合成抵抗} = R_1 + R_2$ 【直列接続の合成抵抗】
44 [更新：2026.7.1]	②並列接続の合成抵抗（図形を差し替え）	 $\text{合成抵抗} = \frac{R_1 \times R_2}{R_1 + R_2}$ 【並列接続の合成抵抗】
44 [更新：2026.7.1]	③直列と並列接続を組み合わせた合成抵抗（項目削除）	-
46 [更新：2026.7.1]	①直列接続の合成静電容量（図を形差し替え）	 $\text{合成静電容量} = \frac{C_1 \times C_2}{C_1 + C_2}$ 【直列接続の合成静電容量】
46 [更新：2026.7.1]	②並列接続の合成静電容量（図形を差し替え）	 $\text{合成静電容量} = C_1 + C_2$ 【並列接続の合成静電容量】
47 [更新：2026.7.1]	③直列と並列接続を組み合わせた合成静電容量（項目削除）	-

51 [更新：2026.7.1]	トランジスタに流れる電流の関係（赤字が修正箇所）	③ $I_E \geq I_C$	
61 [更新：2026.7.1]	スーパヘテロダイン受信機（下線部分を追加）	▪ 中間周波数を高くする。	
83 [更新：2026.7.1]	並列接続（傍線部分を削除し、下線部分のように変更）	◆並列接続した場合の合成電圧は1個の場合と同じである。しかし、合成容量は各電池電圧容量の和となる。	
110 [更新：2026.7.1]	〔17〕解説（下線部分を追加）	波長 $\div 4 = 2 \text{ [m]} \div 4 = \frac{2}{4} = 0.5$	
142 [更新：2026.7.1]	〔19〕選択肢（赤字が修正箇所）	誤	2 $2f_s$
		正	2 $2f_c$